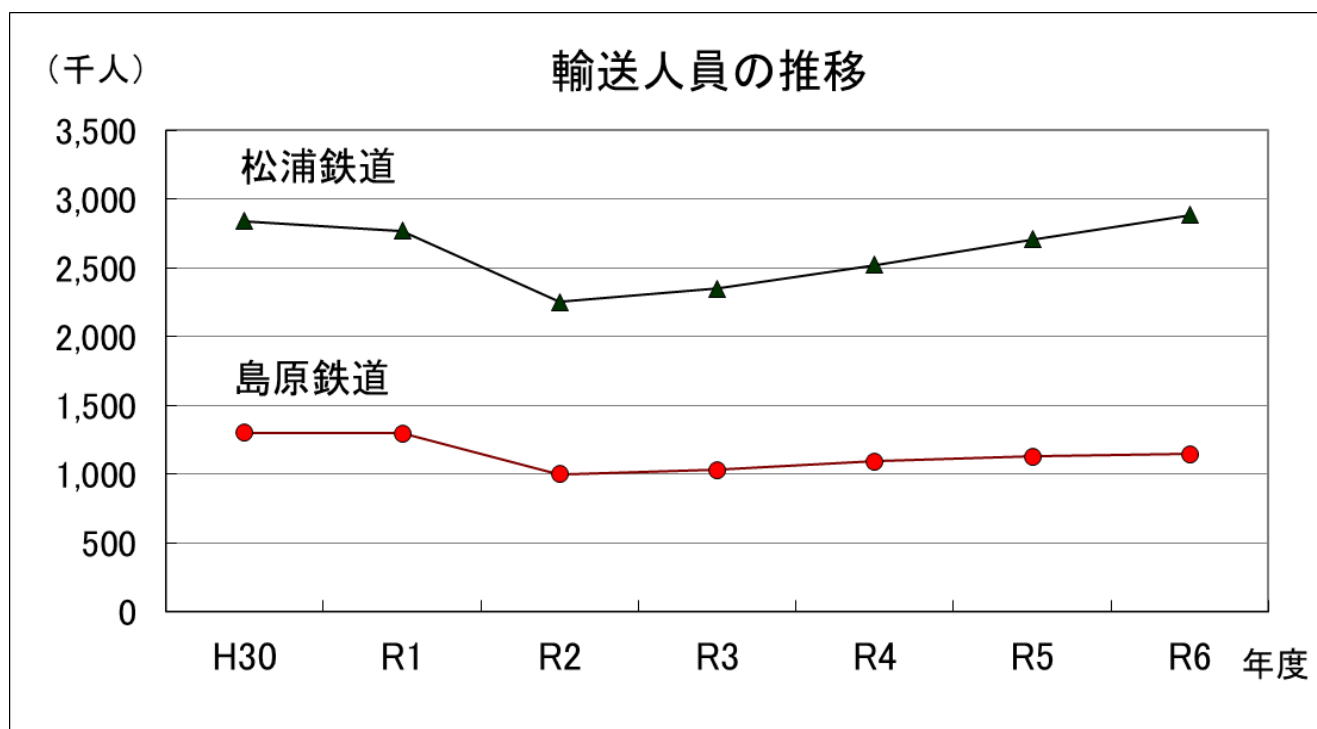


鉄道利用の概況



県内鉄道の諸元

(令和7年4月現在)

鉄道会社		営業キロ (km)	駅数	複線化キロ (km)	複線化率 (%)	電化キロ (km)	電化率 (%)
J R 九州	(新幹線)	69.6	5	69.6	100	69.6	100
	(在来線)	135.6	39	8.1	6	21.5	15.9
島原鉄道		43.2	24	-	-	-	-
松浦鉄道		93.8	57	-	-	-	-

※新幹線は、全線(長崎・佐賀両県)に係るもの

※松浦鉄道は、全線(長崎・佐賀両県)に係るもの

利用者数の推移

(単位：千人)

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
島原鉄道	1,301	1,297	1,002	1,030	1,092	1,129	1,148
松浦鉄道	2,841	2,773	2,253	2,350	2,524	2,707	2,885

※J R 九州は非公表

※島原鉄道と松浦鉄道(長崎・佐賀両県)は、全線各駅の輸送人員の合計

本県に路線を有するＪＲ九州、島原鉄道、松浦鉄道は地域の基幹的公共交通機関として、住民生活に必要不可欠な輸送サービスの維持向上に努めている。

各社とも令和元年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大きく落ち込んだが、５類感染症移行後はインバウンド需要を含め、緩やかに回復しつつある。

ＪＲ九州は、令和４年９月２３日に西九州新幹線が武雄温泉から長崎間で開業し、安全運行を基本として、より一層のサービス向上に努め、鉄道利用促進に取り組んでいる。特に、Ｄ＆Ｓ列車「３６ぷらす３」や「ふたつ星４０４７」の運行や、地域のイベントと連携したＪＲ九州ウォーキングの実施など、地域に密着した顧客サービスの向上を図っている。

島原鉄道は、地域に密着した公共交通機関として、朝夕の通勤・通学はもとより、島原半島の観光振興にも重要な役割を果たしており、他地域からの観光利用者を誘客するため観光列車「カフェトレイン」を運行している。同社の輸送人員は、島原半島における少子高齢化の影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大幅に減少したが、５類感染症移行後緩やかに回復し、令和６年度は１，１４８千人で令和元年度比８８．５％となった。

松浦鉄道は、地域に密着した公共交通機関として、朝夕の通勤・通学をはじめ、県北地域の生活・観光に欠かすことのできない移動手段となっている。令和２年３月に全国相互利用交通系ＩＣカード（ｎｉｍｏｃａ）を導入したほか、令和３年度には観光列車「レトロン号」のリニューアルや車内で沿線の観光案内放送を開始するなど、利用者の利便性向上にも努めている。同社の輸送人員は平成３０年度までは概ね横ばいで推移し、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大幅に減少したが、令和６年度は２，８８５千人で、令和元年度比１０４．０％まで回復した。

県においては、島原鉄道と松浦鉄道の２社に対し、新型コロナウイルス感染症や燃油価格高騰等に係る支援を実施し、地域住民の移動手段の維持・確保に努めている。

（県交通政策課）

バス利用の概況

年 度	乗合バス				貸切バス			
	走行 キロ (千km)	輸送 人員 (千人)	対前年比 (%)	車両数 (両)	走行 キロ (千km)	輸送 人員 (千人)	対前年比 (%)	車両数 (両)
平成								
21	73,036	88,976	97.1	1,571	16,682	2,483	97.1	539
22	73,498	88,125	99	1,554	16,552	2,445	98.5	555
23	70,961	87,562	99.4	1,568	17,902	2,626	107.4	562
24	71,705	86,255	98.5	1,566	19,311	2,932	111.7	561
25	71,852	85,579	99.2	1,593	20,324	3,088	105.3	576
26	72,516	84,125	98.3	1,575	20,463	3,178	102.9	618
27	71,705	83,646	99.4	1,572	20,600	3,406	107.2	622
28	70,654	81,531	97.5	1,566	17,442	3,478	102.1	667
29	68,992	79,605	97.6	1,590	17,377	3,547	102.0	678
30	67,821	76,977	96.7	1,546	15,221	3,365	94.9	705
令和								
1	64,805	72,656	94.4	1,524	13,345	2,715	80.7	612
2	57,560	56,291	77.5	1,495	3,580	1,129	41.6	560
3	56,067	56,184	99.8	1,414	4,282	1,041	92.2	534
4	52,026	57,326	102.0	1,364	6,977	1,481	142.3	542
5	50,889	58,084	101.3	1,344	8,679	1,774	119.7	507

バスは、通勤、通学、観光客の足として、また、鉄道駅や空港等との主要なアクセス手段として果たす役割は大きい。特に、高齢化が進み全国で最も離島が多い本県では、地域住民の生活を支える重要な交通手段である。

令和7年3月末現在、県内に本社を置く乗合バス事業者は12社で、このうち日本で唯一の県営バスである公営企業が1社、民間企業が11社であり、また8社が本土地域、4社が離島地域の事業者となっている。

令和5年度の輸送人員は、乗合バスは58,084千人で対前年度比1.3%の増加、貸切バスは1,774千人で対前年度比19.7%の増加となっている。

バス利用者は少子高齢化やマイカーの普及等により年々減少傾向にあり、バス事業を取り巻く環境は非常に厳しい。バスを含めた地域公共交通の維持・確保を図っていくため、コミュニティバスやデマンドタクシーなど持続可能な地域交通ネットワークの再編検討に取り組み、利用サービスの向上を進める必要がある。

また、令和元年度の新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく落ち込んだこともあり、県においては、定期路線バス事業者や貸切バス事業者に対し事業継続等支援金を交付するなど、地域住民の移動手段の維持・確保に努めているところである。

(県交通政策課)

航空利用の概況

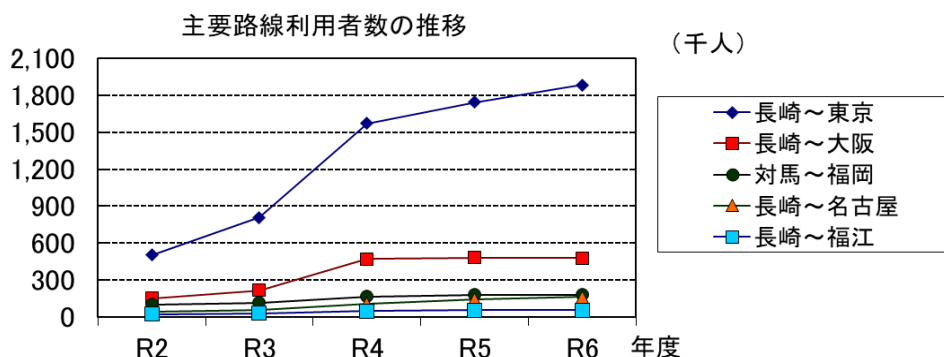
(単位：人)

区 分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
国 内 線	875,218	1,315,285	2,532,582	2,813,484	2,978,515
国 際 (定 期) 線	0	0	0	3,809	36,929
国 際 チ ャ ー タ ー 便	2	0	126	30	4,061
乳 幼 児	13,414	21,681	40,363	44,905	45,535
計	888,634	1,336,966	2,573,071	2,862,228	3,065,040

(単位：人)

区 分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
長 崎 ～ 東 京	504,421	807,436	1,572,435	1,741,930	1,884,932
長 崎 ～ 大 阪	151,995	216,865	470,920	482,130	478,779
対 馬 ～ 福 岡	102,102	115,735	167,199	181,387	179,137
長 崎 ～ 名 古 屋	39,178	57,495	109,910	143,947	162,842
長 崎 ～ 福 江	23,932	31,049	48,631	54,855	55,215

注) 路線別利用者数に乳幼児は含まない。



本県における航空の歴史は、昭和35年4月、大村空港を国管理空港（旧第二種空港）として供用開始したことに始まり、昭和50年には世界初の本格的な海上空港「長崎空港」として生まれ変わり、さらに昭和55年には滑走路が2,500mから3,000mに延長された。県内には長崎空港のほか、五島つばき空港、壱岐空港、対馬やまねこ空港の4空港に定期便が就航しており、全国の主要都市をはじめ本土と離島とを結ぶ航空網を形成している。

長崎空港は本県の空の玄関口として、国内線は東京(羽田、成田)、大阪(伊丹、神戸、関西)、名古屋(中部)、県内離島の9路線39便、国際線は上海(浦東)・ソウル(仁川)の2路線週5便となっている。令和6年度の長崎空港の利用者数は、国内線・国内線合わせて、3,065,040人で、令和5年度と比較すると国内線105.8%、国際線1,068.6%、全体107.1%であった。国際線は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年3月からすべての国際線が運休したが、令和5年10月から上海(浦東)線、令和6年10月にはソウル(仁川)線が再開した。

また、離島の空港は、五島つばき空港と対馬やまねこ空港は長崎と福岡、壱岐空港は長崎と結ばれており、令和6年度の利用者数は454千人で、生活路線としての役割を果たしている。

※ 路線数及び便数は令和7年5月1日現在の数字。

(県交通政策課)

海運（船舶）利用の概況

定期航路利用の概要

（国内）

（単位：千人、千台）

区	分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
離島航路	旅客数	2,465	2,590	3,079	3,270	3,211
	車両数	300	316	344	368	359
本土間航路	旅客数	704	816	1,182	1,364	1,371
	車両数	378	414	526	566	576
計	旅客数	3,169	3,406	4,261	4,634	4,582
	車両数	678	729	870	934	935

注）平戸、福島、天草の航路を離島航路に含む。

（国際）

（単位：人）

区	分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
対馬～釜山航路利用者数		0	0	4,963	328,471	396,207

本県における国内定期航路数は令和7年12月末現在36航路あり、このうち離島定期航路数は32航路である。（休止中の航路を除く）

定期航路の令和6年度利用状況は、前年度と比較して、旅客数は4,582千人で前年度の98.9%に留まっており、このうち離島航路は3,211千人で前年度比98.2%となった。車両航走台数は935千台で前年度比100.1%、このうち離島航路は359千台で前年度比97.6%となった。

離島・半島地域の人口減少や少子高齢化による利用者の減少に加え、燃料等高騰の影響を受けて航路事業者を取り巻く環境が厳しくなっている中、県においては、離島航路維持に向けて離島航路事業者対策補助金や燃料価格高騰に係る支援等を実施し、地域住民の移動手段の維持・確保に努めている。

また、国際定期航路については新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度末から運休していたが、令和5年2月に、運航事業者2社が比田勝～釜山航路を再開し、令和6年度の利用者数は396,207人であり、前年度と比較して20.6%増加している。

なお、厳原～釜山航路については、令和6年4月に運航が再開し、令和7年12月時点で1社が運航中である。

（県交通政策課）

64 道 路

(1) 実延長

単位：km

年 次	実 延 長				# 道 路 延 長			
	総 数	国 道	県 道	市町道	総 数	国 道	県 道	市町道
令和 3 年	17,822	760	1,681	15,381	17,624	712	1,619	15,293
4	17,836	760	1,686	15,390	17,636	711	1,623	15,302
5	17,859	760	1,696	15,403	17,655	711	1,629	15,315
6	17,856	761	1,693	15,402	17,649	711	1,625	15,313
7	17,845	761	1,692	15,392	17,640	712	1,624	15,304

注) 1.各年4月1日現在。

2.国道及び県道は長崎県管理の道路現況について記載している。

(2) 道路現況 (令和7年4月1日現在)

単位：km

区 分	総 数	国 道	県 道	市町道
実 延 長	17,845	761	1,692	15,392
路 面 別	17,845	761	1,692	15,392
砂 利 道	1,149	-	16	1,133
舗 装 道	16,696	761	1,676	14,259
種 類 別	17,845	761	1,692	15,392
道 路 延 長	17,640	712	1,624	15,304
橋 り ょ う 延 長	136	25	32	79
ト ン ネ ル 延 長	69	24	36	9
改 良 ・ 未 改 良 別	17,845	761	1,692	15,392
改 良 済	10,059	738	1,341	7,980
未 改 良	7,786	23	351	7,412
(#)自動車交通不能	2,301	-	23	2,278

注) 国道及び県道は長崎県管理の道路現況について記載している。

資料 県道路建設課調

64 道 路 (続)

(3) 橋りょう

単位：個、m

区 分	令和4年		5年		6年		7年	
	個数	延長	個数	延長	個数	延長	個数	延長
総 数	1,598	55,906	1,605	56,741	1,608	56,995	1,598	57,009
鋼 橋	125	17,857	126	17,904	127	18,138	124	18,173
石 橋 お よ び コ ン ク リ ート 橋	1,436	33,590	1,441	34,337	1,443	34,356	1,439	34,335
木 橋	1	5	1	5	1	5	1	5
鋼 橋 と コ ン ク リ ート 橋 と の 混 合 橋	36	4,454	37	4,495	37	4,496	34	4,496
鋼橋又はコンクリート橋と 木橋又は石橋との混合橋	-	-	-	-	-	-	-	-

資料 県道路建設課調

(4) 有料道路の利用状況

単位：台／日

年 度	長崎自動車道インターチェンジ別 出 入 交 通 量						長崎バイパス 出入交通量	
	長崎	芒塚	長崎 多良見	諫早	大村	東そのぎ		# 川 平 有料道路
令和 4 年度	12,790	2,270	15,143	18,879	10,685	5,124	36,090	15,886
5	13,804	2,431	16,247	20,327	11,383	5,380	36,923	16,337
6	14,182	2,500	16,695	20,965	11,769	5,503	36,893	16,309
年 度	西九州自動車道 出 入 交 通 量				ながさき 出島道路 出 入 交 通 量	西海パー ルライン 有料道路 出 入 交 通 量	ながさき 女神大橋 道路出入 交 通 量	
	佐世保三川 内IC本線料 金 所 通 過	佐世保三川 内 IC 出 入	佐世保 大塔IC 本線料金 所通過	佐世保 大塔IC 出入				
令和 4 年度	7,914	3,078	5,783	20,544	7,799	7,247	7,974	
5	8,361	3,201	6,086	20,346	8,539	7,362	8,127	
6	8,367	3,288	5,976	19,451	8,781	7,262	8,205	

資料 西日本高速道路株調、長崎県道路公社ホームページ

65 保有車両数

単位：両

年 度 末	総 数	登 録 車 両				
		計	貨 物 用			被牽引車
			普 通 車	小 型 車		
				四 輪	三 輪	
令和 2 年度末	927,300	407,453	19,281	28,519	14	598
3	926,408	405,614	19,472	28,381	14	631
4	927,966	404,458	19,689	28,411	14	668
5	928,290	403,321	19,827	28,350	14	736
6	927,214	402,142	19,779	28,136	14	727
年 度 末	登 録 車 両 (続 き)					
	乗 合	乗 用		特 種 用 途		大 型 特殊車
		普通車	小型車	普通車	小型車	
令和 2 年度末	4,201	156,381	181,014	13,038	1,718	2,689
3	4,032	159,126	176,525	12,995	1,753	2,685
4	3,918	162,027	172,375	12,947	1,732	2,677
5	3,835	166,213	166,997	12,961	1,724	2,664
6	3,770	170,354	162,007	12,986	1,705	2,664
年 度 末	新規検査	届出車両（軽自動車）				
	小型二輪車	1)計	四輪			三輪
			貨物用	乗用	特種	
令和 2 年度末	17,252	502,595	135,676	364,999	1,907	13
3	17,803	502,991	135,781	365,291	1,907	12
4	18,401	505,107	136,199	366,937	1,925	15
5	18,816	506,153	136,274	367,875	1,959	14
6	19,045	506,027	136,145	367,911	1,959	14

1)用途不明も含まれているため、四輪と三輪の計とは一致しない。

資料 九州運輸局長崎運輸支局「自動車保有車両数」、長崎県軽自動車協会「軽自動車市区町村別保有車両数」

66 鉄 道 運 輸

単位：人、t

年 度	旅 客			貨物（コンテナ・車扱）	
	乗 車 人 員		降 車 人 員	発 送	到 着
	普 通	定 期			
	九州旅客鉄道(株)			日 本 貨 物 鉄 道 (株) 九 州 支 社	
令和 2 年度	…	…	…	23,110	30,986
3	…	…	…	23,996	27,849
4	…	…	…	27,737	27,143
5	…	…	…	24,926	25,733
6	…	…	…	20,277	22,216
	島 原 鉄 道				
令和 2 年度	370,369	631,860	1,002,229	-	-
3	409,063	621,720	1,030,783	-	-
4	474,381	617,220	1,091,601	-	-
5	514,560	614,880	1,129,440	-	-
6	519,833	628,620	1,148,453	-	-
	松 浦 鉄 道				
令和 2 年度	616,394	1,178,044	1,796,645	-	-
3	631,998	1,239,610	1,873,919	-	-
4	832,383	1,246,120	2,075,521	-	-
5	893,756	1,350,806	2,248,462	-	-
6	987,310	1,461,568	2,444,891	-	-

注) 1.松浦鉄道は長崎・佐賀両県で営業しているが、長崎県分のみ計上。

2.日本貨物鉄道(株)九州支社は長崎駅分のみ計上。

3.九州旅客鉄道(株)は平成29年度分から非公表。

資料 九州旅客鉄道(株)、島原鉄道、松浦鉄道、日本貨物鉄道(株)九州支社調

67 乗 合 自 動 車 輸 送

単位：km、人

年 度	乗 合			貨 切	
	走行キロ	輸 送 人 員		走行キロ	輸送人員
			# 定期		
令和 2 年度	58,005,923	56,228,499	19,261,087	3,370,127	1,080,866
3	56,174,092	56,090,089	19,019,269	4,032,847	994,964
4	51,738,761	57,211,582	18,580,950	6,602,520	1,369,706
5	50,171,919	57,758,650	18,148,377	7,918,379	1,638,742
6	47,904,277	57,653,184	17,761,106	8,566,904	1,804,678

資料 (一社) 長崎県バス協会調

68 航空便利用状況

(1) 定期便

単位：人

年次	総数		東京線（羽田）		東京線（成田）		大阪線（伊丹）	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
令和 4 年度	1,391,680	1,412,310	667,837	694,802	104,065	105,740	165,720	170,044
5	1,547,381	1,562,994	802,351	826,564	56,741	56,274	184,075	187,003
6	1,648,598	1,669,240	871,951	896,429	57,972	58,580	187,734	192,383
年次	名古屋線(中部)		神戸線		大阪線（関西）		沖縄線	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
令和 4 年度	54,379	55,531	114,666	118,869	69,254	65,950	424	555
5	71,138	72,809	142,604	146,067	56,871	54,181	-	-
6	80,579	82,263	147,832	152,263	51,454	47,208	-	-
年次	福江線		壱岐線		対馬線		韓国線	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
令和 4 年度	26,552	22,079	15,665	17,406	31,283	30,664	-	-
5	28,791	26,064	16,479	17,825	33,331	33,075	-	-
6	28,051	27,164	15,930	17,242	31,298	30,989	11,841	12,894
年次	中国線（香港）		中国線（上海）		対馬～福岡		福江～福岡	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
令和 4 年度	-	-	-	-	85,908	81,291	55,927	49,379
5	-	-	1,815	1,994	90,532	85,536	62,653	55,602
6	-	-	5,836	6,358	91,357	87,780	66,763	57,687

注）乗降客は有償利用者である。

(2) 長崎空港国内チャーター便 単位：便、人

年次	総数	
	便数	人員
令和 4 年度	25	1,097
5	17	1,241
6	20	1,117

(3) 長崎空港国際チャーター便

単位：便、人

年次	総数		ソウル		台北・高雄		その他	
	便数	人員	便数	人員	便数	人員	便数	人員
令和 4 年度	4	126	-	-	-	-	4	126
5	6	30	-	-	-	-	6	30
6	53	4,061	6	824	4	5	43	3,232

注）乗降客は有償利用者数である。

資料 県交通政策課調

69 船舶乗降人員

単位：人

年次	乗込人員			上陸人員		
	総数	#長崎港	#佐世保港	総数	#長崎港	#佐世保港
令和2年	2,321,971	351,330	226,567	2,306,072	357,347	229,075
3	2,180,679	297,338	221,850	2,175,363	299,563	221,208
4	2,664,384	450,155	240,819	2,679,019	459,191	243,510
5	3,393,313	670,673	289,937	3,394,363	678,290	292,329
6	3,762,137	887,677	428,354	3,768,786	899,428	429,183

注) 総数は県内38港の合計である。

資料 国土交通省「港湾統計(年報)」

70 電話及び携帯電話等契約数

(1) 電話契約数(各年3月31日現在)

年度末	加入電話			1) 公衆電話	
	総数	2)事務用	住宅用	アナログ	デジタル
	回線	回線	回線	個	個
令和5年度	179,244	34,012	145,232	1,093	337
6	164,398	31,856	132,542	1,000	297
7	150,381	29,935	120,446	930	230

1)設置台数。 2) ビル電話を含む。

資料 NTT西日本「電気通信役務契約等状況報告」

(2) 携帯電話等契約数(各年3月末現在)

単位：契約

年度末	携帯電話	ISDN (総合デジタル 通信サービス)	BWA	FTTH	DSL	CATV	FWA
令和5年度	1,322,342	13,770	459,747	331,041	6,530	43,042	33
6	1,327,044	11,985	449,788	340,908	5,156	39,242	26
7	1,327,897	10,704	438,578	345,997	2,299	35,727	22

資料 NTT西日本「電気通信役務契約等状況報告」総務省「情報通信統計」

71 効力別旅券発行件数

単位：件

効力別	令和2年	3年	4年	5年	6年
発行件数	6,987	2,588	6,388	21,917	25,121
数次往復用	6,985	2,588	6,388	21,915	25,117
新規	6,985	2,588	6,388	21,915	25,117
再発給	-	-	-	-	-
限定	2	-	1	2	4
新規	2	-	1	2	4
再発給	-	-	-	-	-

資料 県民センター調

72 放送受信契約数・衛星契約数

(各年3月末現在)

年次	世帯数	放送受信契約数	衛星契約数(再掲)
		契約数	契約数
令和 3 年	556,715	515,144	212,078
4	555,182	512,434	210,014
5	556,679	506,761	207,153
6	556,491	500,201	205,519
7	557,031	493,920	203,167

注) 世帯数は各年4月1日現在。

資料 日本放送協会「放送受信契約数統計要覧」、県統計課「長崎県異動人口調査」